

2025年3月4日  
株式会社ビズリーチ

<ビズリーチ WorkTech 研究所 女性の転職動向（2024年）を発表>

## 女性管理職の転職が、5年前と比べて3.3倍に増加

女性会員の転職のうち、52.9%が1割以上の年収上昇

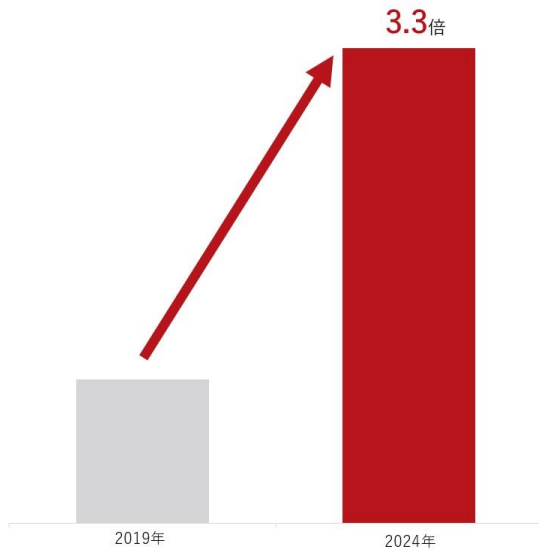
株式会社ビズリーチ（所在地：東京都渋谷区/代表取締役社長：酒井哲也）が運営する、働く人の活躍を支えるテクノロジー“WorkTech”に関する研究機関「ビズリーチ WorkTech 研究所」は、国連が制定する3月8日の「国際女性デー」にちなみ、即戦力人材と企業をつなぐ転職サイト「ビズリーチ」における女性の転職動向に関する調査（2024年）を行いました。

その結果、管理職の経験<sup>※1</sup>がある女性会員の転職数は5年前<sup>※2</sup>に比べて3.3倍と、全体傾向に比べても伸長しており、女性管理職の転職が活発であることが分かりました。帝国データバンクの調べ<sup>※3</sup>によると、2024年の企業の管理職における女性割合の平均が、2013年の調査開始以降初めて1割（10.9%）を超えるなか、即戦力としてのスキルや経験を持つ女性会員の多くが、転職を通じて主体的にキャリア形成を図っていることや、企業における女性の活躍が徐々に進んでいることが推測される結果となりました。

※1 本調査では、11名以上のマネジメント経験のある会員を「管理職経験のある会員」と定義しています。

※2 本調査の「5年前」は、2024年を起点にしており、2019年を指します。

※3 帝国データバンク「[女性登用に対する企業の意識調査（2024年）](#)」



### 管理職経験のある女性の転職

5年前と比べ**3.3倍**

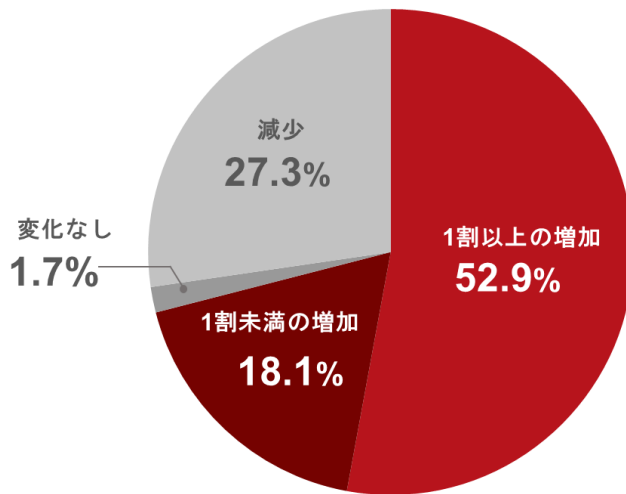
- ・ビズリーチでの11名以上のマネージャー経験のある女性会員の転職決定数（ヘッドハンター経由での転職は除く）
- ・2019年を「1」として算出

BIZREACH  
WORKTECH

### ■ 転職活動を行う女性会員が過去最多。半数以上が、転職で1割以上の年収アップを実現

ビズリーチ上で、スカウト返信や求人応募、面接などの転職活動を行っている女性会員（以下、女性会員）を対象に調べたところ、2024年はその会員数が過去最多となりました。その増加率は全体傾向を上回り、自律的なキャリア形成の意識が高まるなか、転職を通じて自身のキャリアを主体的に築きたいと考える女性が増加していることが推測されます。また2024年における女性会員の転職のうち、52.9%と半数以上が、転職で年収が1割以上増加していたことが分かりました。

## 転職時の年収変動（2024年、女性）



転職で年収が  
1割以上増加した女性

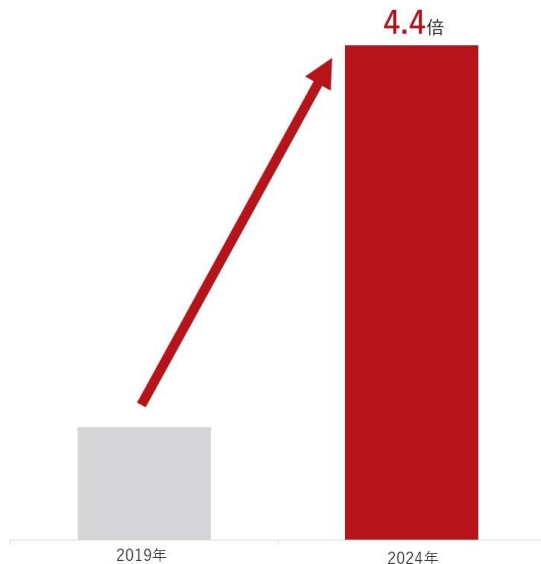
**52.9%**

- ・ビズリーチ上の女性会員における転職のうち、直近の年収と転職時の決定年収を比較（ヘッドハンター経由での転職は除く）
- ・勤務形態が「副業・兼業」は除く
- ・対象期間は、2024年1月～12月

BIZREACH  
WORKTECH

### ■ 管理職経験のある女性会員数は 4.4 倍に伸長。30 代前半の増加が顕著に

管理職経験のある女性会員数は、5 年前（2019 年）に比べて、2024 年は 4.4 倍となり、管理職経験のある会員全体の伸び率より大きいことがわかりました。同じく 5 年前に比べて、管理職経験のある女性会員の転職数は 3.3 倍の伸長が見られました。2024 年の管理職経験のある女性会員の転職における年代別構成比は、30 代前半（30 歳～34 歳）が最も多く 19.7%、次いで 40 代前半（40 歳～44 歳）が 19.4%、30 代後半（35 歳～39 歳）が 18.9%、40 代後半（45 歳～49 歳）が 17.0% でした。各年代とも転職数は増加傾向にあるものの、特に 30 代前半の管理職経験のある女性会員の転職数は 5 年前と比べ 10.3 倍と大幅に増加しており、30 代から管理職として活躍する女性が増加傾向にあることがうかがえます。



管理職経験のある女性会員数

5年前と比べ**4.4倍**

- ・ビズリーチで、スカウト返信や求人応募、面接などの転職活動を行ったかつ、11名以上のマネージャー経験のある女性会員数（ヘッドハンター経由での転職活動は除く）
- ・2019年を「1」として算出

BIZREACH  
WORKTECH

### ■ 株式会社ビズリーチ ビズリーチ WorkTech 研究所 所長 友部 博教 コメント

2024 年は女性の就業者（15 歳～64 歳）のうち、正社員比率が非正規社員を 21 年ぶりに上回りました<sup>※4</sup>。21 年前は女性の就業者自体が少なかったことを考えると、女性の社会活躍において大きな転換期を迎えているといえるでしょう。そこで今回は、3 月 8 日の国際女性デーにちなんで、女性会員にフォーカスをあてた転職動向を調査しました。

結果内容から、近年、転職活動を行う女性が大幅に増加し、転職によって年収アップを実現しているケースが多いことが分かりました。特に管理職経験のある女性においては、2024年の転職数が5年前に比べて3.3倍に増加しており、コロナ禍を経てリモートワークの普及などにより、働き方の柔軟性が高まるなかで、女性が管理職に挑戦しやすい環境が広がっていることが分かります。また特に30代前半の若い世代に顕著な増加が見られ、新興企業を中心に、管理職のあり方が「出世」から切り離され、「役割・責任」と再定義されるなかで、性別にかかわらず若手の活躍の場が広がっていることが一因と考えられます。

本調査を通じて、女性が主体的にキャリア形成を行える環境が、徐々にですが着実にでき始めていることがうかがえます。しかし日本の女性管理職比率は欧米など海外に比べると低く<sup>※5</sup>、柔軟なキャリア形成を可能にし、女性が持続的に活躍できる環境づくりが求められます。

従来、役割の割り当てや評価の場面では、同質的な関係性が有利に働く傾向があります。女性を含めた多様な人材が持続的に活躍できる環境づくりを実現していくためには、人事評価の枠組みの再検討や、多様な価値が正当に評価される体制の整備に向けた「管理職層における多様性の向上」がカギとなります。急速に変化する市場環境に対応するためにも、組織の多様性の確保は重要な課題です。管理職層における多様性の向上は、各組織における多様な視点やリーダーシップの導入を促進し、結果として、女性の活躍機会の拡大に寄与するものと考えられます。

※4 総務省統計局「[労働力調査](#)」のデータより算出

※5 労働政策研究・研修機構（JILPT）「[データブック国際労働比較 2024](#)」

## ■「ビズリーチ WorkTech 研究所」について

企業と個人（働く人）の関係性が変化するなかで、これからの人事部門が導入を求められる「WorkTech（従業員の自律的な活躍を支えるテクノロジー）」について、その活用や未来の人材活用のあるべき姿を研究し、企業の経営層・人事部門に情報を発信する目的で設立。

企業の経営者・人事部門・ビジネスパーソンを対象とした WorkTech 領域の意識調査と分析、企業の活用事例、AI 技術の研究などに基づいた情報発信を行う。

公式ブログ：<https://note.com/bizreachworktech>

## ■株式会社ビズリーチについて

「キャリアに、選択肢と可能性を」をミッションとし、2009年4月より、働き方の未来を支えるさまざまなインターネットサービスを運営。東京本社のほか、大阪、名古屋、福岡、静岡、広島に拠点を持つ。即戦力人材と企業をつなぐ転職サイト「ビズリーチ」、社内スカウトで人材流出を防ぐ「社内版ビズリーチ by HRMOS」、人財活用プラットフォーム「HRMOS（ハーモス）」シリーズ、OB/OG 訪問ネットワークサービス「ビズリーチ・キャンパス」を展開。産業のデジタルトランスフォーメーション（DX）を推進するさまざまな事業を展開する Visional グループにおいて、主に HR Tech のプラットフォームや SaaS 事業を担う。

URL：<https://www.bizreach.co.jp/>